


令和五年度県民総合文化祭 現代詩大会 『秋の詩祭』

■日時:令和5年11月23日(木・祝)13:00~16:30

■場所:県民文化会館 別館 第11会議室

県内各地から現代詩の愛好家が一堂に会して、事前募集作品の朗読やスピーチなどを行います。また、詩をさまざまな視点からとらえるオープン・ディスカッションもありますので、この機会に、詩に心傾け、詩を感じ、詩を語り合ってみませんか！

現代詩大会『秋の詩祭』の日程は、次のとおりです。

12:30	受付	
13:00	開会 あいさつ 愛媛詩話会代表	
13:10	講演 『詩が歌に変わる時』 講師 吉田 義昭 氏	
14:00	(休憩)	
14:10	朗読タイム 「2023 愛媛詩集」より作品の朗読・スピーチ オープン・ディスカッション 自由な形での意見交換。詩をどのように感じ、詩とどのように向き合っているのか、語り合しましょう。	
16:30	閉会	

【講師プロフィール】

- * 主な詩集 「ガリレオが笑った」(2002年 書肆山田) 第14回日本詩人クラブ新人賞受賞
「北半球」(2007年 書肆山田)
「海の透視図 長崎半島から」(2010年洪水企画) 第10回詩と創造賞受賞
「空気の散歩」(2016年洪水企画)
「結晶体」(2017年砂小屋書房)
「幸福の速度」(2019年土曜美術社出版販売)
「風景病」(2023年滯標)

【お問い合わせ先】

愛媛県県民総合文化祭実行委員会 089-947-5581

愛媛詩話会(森原) 089-931-1931





愛媛の現代詩

1 概要

本県は、「汽笛一声新橋を……」の歌いだしに始まる鉄道唱歌の作詞でも有名な大和田建樹（1857～1910 宇和島市）口語自由詩運動の中心にいた服部嘉香（1886～1975 松山市）や大正期にダダイズム運動を主導した高橋新吉（1910～1987 伊方町）などの詩人の出身地でもあります。

平成元年4月、山本耕一路（1906～2005 松山市）を中心に、県内各地で活躍する詩人が、交流や研鑽を図る場を作ろうと愛媛詩話会を設立しました。それぞれ個人レベルでの活動のほか、年3回程度のセミナーや県民総合文化祭・現代詩大会を始め、機関誌の発行などを行っています。

新緑、夏季、冬季にそれぞれ開催しているセミナーでは、日帰りや宿泊研修方式で、テーマを設定するとともに、会員以外の参加も呼びかけて実施しています。

県民総合文化祭・現代詩大会では、毎回、県内外から詩人を招聘し、講演やオープン・ディスカッションなどを実施、また、作品の公募を呼びかけて作品集を編纂しています。平成23年度からは、現代詩大会『秋の詩祭』と題し、一人でも多くの方々に詩を届けたいと願っています。

2 主な現代詩関係行事

時期	事業名
4月	定期総会
6月	新緑セミナー
8月	夏季セミナー
11月	県民総合文化祭・現代詩大会
2月	冬季セミナー

3 全県団体の概要

- ① 名称 愛媛詩話会
- ② 設立 平成元年4月
- ③ 会員数 約40人
- ④ 代表者 代表 堀内 統義

事務局 〒790-0855

松山市持田町1-2-31（森原 直子 方）

（TEL・FAX 089-931-1931）



4 ひとこと

愛媛の詩を元気にしたい。これが、故山本耕一路さんの一貫した思いでした。しかし、会員は30年ほとんど変わらず、皆でそろって歳を重ねてきました。が、「詩とは何なのだろう」という素朴な疑問に真っ直ぐ向き合っていきたいと思っています。